

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：12/9～12/13

### ・12/9(月)

桜を見る会、秋元司衆院議員の元政策秘書に東京地検特捜部が自宅搜索。神奈川県は行政文書が流出。北朝鮮、自衛隊の中東派遣などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、桜を見る会については放送法の観点からも、印象操作の観点からも非常に問題のあるものでした。

### ・12/10(火)

玉澤徳一郎銃撃事件、寡婦控除、2015年に衛藤晟一氏にジャパンライフの元会長からお中元、COP25などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、寡婦控除については放送法上不十分な点が見られました。

### ・12/11(水)

COP25、トランプ大統領、玉澤氏銃撃事件などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。COP25については検証者の所感を記しました。

### ・12/12(木)

「桜を見る会」をめぐる諸疑惑、在沖米軍基地問題、ヘイトスピーチ規制、公職者の倫理などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。しかし、「桜を見る会」をめぐる諸疑惑については検証者の所感を記しました。

### ・12/13(金)

米中関係、「桜を見る会」をめぐる諸疑惑などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、「桜を見る会」をめぐる諸疑惑については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月9日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：桜を見る会、秋元司衆院議員の元政策秘書に東京地検特捜部が家宅捜索 神奈川県行政文書が流出。北朝鮮、自衛隊の中東派遣		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜を見る会</li> <li>・秋元司衆院議員の元政策秘書に東京地検特捜部が家宅捜索</li> <li>・神奈川県行政文書が流出</li> <li>・中村哲銃撃試験の容疑者を逮捕</li> <li>・北朝鮮</li> <li>・【速報】ニュージーランドの火山島噴火で20人以上死傷</li> <li>・新幹線殺傷事件で検察側が無期懲役を求刑</li> <li>・痴漢を疑われた男が線路に逃走</li> <li>・ノーベル化学賞受賞者の吉野さんがストックホルムの学校を訪問</li> <li>・ドーピング問題でWADAがロシアの主要な国際大会への参加禁止を決定</li> <li>・自衛隊の中東派遣</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#銀行の手数料</li> <li>・天気予報</li> <li>・</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜を見る会：結論→問題あり</li> </ul> <p>小川キャスターの「そしてまず、お伝えするのはこちらです。国会が閉幕し、安倍総理が記者会見を行いました。桜を見る会をめぐる数々の疑惑について納得いく説明はあったのでしょうか。」とのコメントを以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>"議長「これにて、散会いたします。」</p> <p>ナレ「桜一色とまで言われた臨時国会が今日、閉会しました。」</p> <p>安住淳（立憲民主党国対委員長）「桜を見る会の様々な疑念は何一つ払拭されておらず、政治や行政への国民の不信は増幅している。」</p> <p>ナレ「桜を見る会の説明責任が果たされていないと主張する野党、今国会、安倍総理の説明は十分果たされたと言えるのでしょうか、与党に対抗するため、国会会期末には野党側が内閣不信任決議案を提出することが多く見られますが、」</p> <p>小池晃（共産党書記局長）「国会の審議から逃げるなど言っている時に、新任しません、やめてください、という決議を出すのは、まあそういう流れを止めてしまうことにもなりかねないのではないか。」</p>		

ナレ「内閣不信任決議案が否決されれば、内閣が信任されたことになり疑惑が追求しづらくなると考えた野党は不信任決議案の提出をやめ、国会会期を 40 日間延長する異例の申し入れ書を提出しました。しかし。」

"高木毅（議院運営委員長）「賛成の諸君の挙手を求めます。」

野党議員「賛成」

高木毅「挙手、少数。」

ナレ「与党側は説明は十分尽くされたと主張、要求は拒否されました。閉会にあたり安倍総理が記者会見に臨みました。どんな説明があったのでしょうか。」 "

(CM)

"田村智子（共産党参院議員）「税金を使った公的行事なんですよ、これ説明できなければおかしいですよ。」

ナレ「公的行事の私物化ではないか、共産党田村議員のこの質問で追及が始まりました。まだ解明されていない疑惑。それは招待者の推薦に安倍総理が関与したかどうかです。総理や菅官房長官は当初、総理の関与を否定していました。」

安倍総理「招待者、等の取りまとめには関与していない、訳であります。」

菅官房長官「総理枠、政治枠という特別なものはありません。」

ナレ「ところが、安倍事務所と書かれた桜を見る会の参加申込書の存在が明るみになり、その違法性を問う声が上がります。」

柚木道義（立国社会派、衆院議員）「5000 円で前夜祭に出ている人で実費との差額を安倍事務所が補填していれば公選法違反、逆にホテル側が値引きをしていれば政資法の違反。」

小西洋之（無所属参院議員）「有権者を 800 人も招いてこのような飲食を提供するのは買収剤における供応接待、供応接待罪そのものではございませんか。」

ナレ「こうした追及に発言にも変化が。」

安倍総理「最終的な取りまとめプロセスには一切関与していませんが、私自身も事務所から相談を受ければ推薦者について意見を言うことはありました。」

ナレ「安倍総理は自身の答弁を修正。」

菅官房長官「官邸内や与党にも推薦依頼を行っており、提出をされた推薦者に付きトリア m 止めを行っております。」

ナレ「菅官房長官は総理枠の存在を認めることとなります、更にその総理枠を巡って。」 "

"田村智子「ジャパンライフ株式会社、山口会長あてに平成 27 年 2015 年、桜を見る会の招待状が送られていた。」

ナレ「被害の訴えの相次ぐマルチ商法のトップを一体誰が招待したのか。安倍総理はこれまで、山口元会長とは個人的な関係はないと述べていましたが、今日の会見でも。」 "

"安倍総理「山口氏とですね、一対一のような形でお会いしたことはありませんし。また個人的な関係、今おっしゃったような個人的な関係は一切ございません。」

ナレ「と、従来と同じ答弁を繰り返しました。」

ナレ「鍵を握るのはジャパンライフの元会長のもとに届いた招待状の受付票の区分番号 60 です。野党はこれが総理枠ではないかと追及、全ては招待者名簿を出せばわかるはずですが。」 "

"菅官房長官「一年未満の文書として終了後遅滞なく破棄する取り扱いとしています。」

ナレ「名簿は既に廃棄されたと主張。バックアップデータについても。」

菅官房長官「サーバのデータを破棄後バックアップデータの保存期間を経た後は復元は不可能である。」

ナレ「総理は今日の会見で記者から、総理自らが内閣府に対し名簿のデータを探すよう指示しないのか、と問われ。」 "

"安倍総理「招待者名簿については内閣府が予め定められた手続きに則って適正に廃棄をしているところでありませう。データの復元についても不可能であるとの報告を受けたものと承知をしております。」

ナレ「と、これも従来と同じ答弁を繰り返したただけでした。今日、安倍総理の 30 分の会見のうち、桜を見る会に費やされた時間はわずか 3 分。」 "

"安倍総理「国会から求められれば出ていって説明するのは当然のことと思います。」

ナレ「以前はこう強調していた安倍総理ですが、国会で説明したのは疑惑が指摘されてからわずかに書き、一方的な答弁で済む本会議でした。この土日行われた JNN の世論調査では。」

JNN 電話世論調査「調査：12 月 7 日（土）・8 日（日）、対象：全国 18 歳以上：2324 人、方法：RDD 方式（固定・携帯）、有効回答：1169 人（50.3%）」

ナレ「安倍総理の一連の説明に納得していないと答えた人が 72%にのぼりました。次の自民党総裁にふさわしい人のトップに立ったこの人は。」

テロップ「次の自民党総裁にふさわしいのは 1 位：石破元幹事長（24%）、2 位：小泉環境相（19%）、3 位：安倍首相（12%）」

石破茂（元幹事長）「結構、世論は厳しいということはよく認識をした方が良かろうかと思います。世の中の感じと永田町の感じが乖離したときが一番怖い。」 "

ナレ「野党側は国会閉会中も引き続きの問題を追及する方針ですが、安倍総理から十分に説明がされることはあるのでしょうか。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されました。

"小川彩佳「国会が閉幕しても残る桜を見る会をめぐる問題、VTR に出てきた論点をあげますと、このように整理されますけれど、何一つ星さん、疑問は解消していないというふうに感じますよね。」

星浩「そうですね、まず私物化ですけれども、安倍総理は今日の会見で、結果として招待者が膨れ上がったと言ってるんですけども、これ別に自然に膨れ上がったのではなくて、安倍事務所が勧誘して 850 人も参加しているわけですよね、その経緯もはっきりしませんし前夜祭の問題点も消えていないということですよ。それから、首相枠の件ですが安倍総理はジャパンライフの山口元会長と個人的な関係は無いと言っているんですけども、それでは個人的な関係のない人をどうして首相枠で招待したのかっていうところは一切答えていないんですよね、それから三番目の廃棄ですね、名簿の、これは内閣府がバックアップデータがあるにも関わらず、廃棄していると、国会で明言しているんです、これ明らかに嘘の答弁をしているわけでその経緯も国会で明らかにしてもらわないと困りますよね。」

小川彩佳「説明がこれで十分というのであれば、それがまかり通ってしまう政治というのは不健全だなというふうに感じますのでしっかり追及していただきたいですけれども国会が閉じたあと、また閉じている間に結論を出そうとしているのかなというふうに思える問題もあります、それがこちらですね。まず自衛隊の中東派遣。空から大学入試をめぐる問題、新制度どうなるのか。」 "

"星浩「中東派遣は自衛隊の調査研究という名目で閣議決定で出すんですけども、国会が終わってからなんですよ、国会の関与がない。シビリアンコントロールというのは国会がコントロールすることなんですけれどもそのシビリアンコントロール、国会の関与がないというのは非常に大きいと思いますね。それから、国民お関心が高い記述式の問題なんですけれどもこれも国会が終わってからどうやら見送る公算なんですけれども、国会の中で議論がないまま進んでいくわけなんですけれども、これも非常に問題が大きいと思いますね。」

小川彩佳「積み残した問題、しっかり見ていかなければならないですね。」

このトピックに当てられた時間は 560 秒だった。

VTR の冒頭でナレーションが「桜一色とまで言われた臨時国会が今日、閉会しました。」と評していたが、果たして本当にそうなのだろうか。確かに NEWS23 では連日桜を見る会について取り上げており、この番組だけを見ていたら、「桜一色」というのもそのとおりのように思えるし、国会では桜を見る会以外についてはほとんど議論されていないかのような印象を受けるが、実際のところは国会では様々な問題が議論されていた。

それを「桜一色」と表現するのは明らかに誇張であり事実を捻じ曲げているといえ、放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」に照らして問題があるといえる。

- ・秋元司衆院議員の元政策秘書に東京地検特捜部が家宅捜索：結論→特に問題なし

小川キャスターの「さて、先程入ってきたニュースなんです、自民党の秋元司衆議院議員の元政策秘書の関係先を東京地検特捜部が外為法違反の疑いで家宅捜索していたことが関係者への取材でわかりました。関係者によりますと東京地検特捜部は今年、自民党の秋元司議員の元政策秘書の男性の自宅や関係先などを外為法違反の疑いなどで家宅捜索しました。既に元秘書から任意で事情聴取も行ったということです、登記簿などによりますとこの元政策秘書などは2年前まで芸能タレントの育成などを目的に設立された東京都内の会社で代表取締役を勤めていて、この会社では一時、秋元議員が顧問、秋元議員の妻が監査役を務めていたということです。」とのコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"記者「元政策秘書の会社に東京地検特捜部が家督捜索に入ったということですが。」

秋元司（衆院議員）「それ、私聞いてないですよ、聞いてない。だから、事実も何も私は聞いていないので、一切その件は。」

ナレ「秋元議員は今日、報道陣の取材に対し元秘書とはしばらく連絡をとっておらず、事態を把握してない。不正には関わっていない、と話しています。」

このトピックに当てられた時間は秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・神奈川県行政文書が流出：結論→特に問題なし

小川キャスターの「さて続いてのニュースになります、大量の個人情報が入った神奈川県町のハードディスクがネットオークションに出品されていた問題です。」とのコメントに山本キャスターが「データの廃棄を依頼された会社の元社員が窃盗の疑いで逮捕されましたが、この男が 7800 点を超える情報機器をネットオークションで売りさばっていた事がわかりました。」と返した後に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"榊彰一（ブロードリンク代表取締役社長）「関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを心より深くお詫び申し上げます、誠に申し訳ございませんでした。」

ナレ「午後 3 時、緊急会見を行ったのは神奈川県が使用していたハードディスクの廃棄を依頼されていた会社、ブロードリンクです、このハードディスクは納税記録など大量の個人情報記録するサーバーとして使用、県が富士通リースから借り、高官のため、今年 4 月返却していました。その後、富士通リースはデータが復元できないよう廃棄をブロードリンクに依頼、しかし担当していた社員がその処理をせず、ハードディスクを持ち出しネットオークションに出品していたのです。警視庁に逮捕されたのは元社員の高橋雄一容疑者。今月 3 日、社内で廃棄予定だったハードディスク 12 台をデータ消去室から盗んだ窃盗の疑いが持たれています。神奈川県の行政文書が保存されたハードディスク 18 台についても盗んだことを認めているということです。」

深田洋（ブロードリンク専務取締役）「出品して落札された数の合計は 7844 でございました。」

ナレ「会見でブロードリンクは高橋容疑者が 3 年前に入社して以降、ネットオークションを通じて 7844 点の商品が売られていたことを明らかにしました。このうち、データを記録する機器が 3904 点にも登っていると言います。高橋容疑者が転売に使っていたオークションサイトを見てみると、UCB メモリや SD カードなども出品されています。」

"田村優依（報告）「こちら現在停止中の高橋容疑者のアカウントですが、購入者の殆どが高評価をつけています。」ブロードリンク社員「ここにハードディスクを入れて破壊をします。お願いします、どうぞ、止めないでいっちゃいましょう。」

ナレ「ハードディスクを廃棄する様子をネット上に公開し、確実な処理をアピールしていたブロードリンク。」

記者「高橋容疑者が普段、どんな業務にあたっていたかというのを教えてください。」

榊彰一「データ消去室内で作業をしていたというふうに聞いています。」

ナレ「高橋容疑者は事件当日の午前 6 時 40 分頃、ハードディスクを持ち出す姿が防犯カメラが映っていて他の社員が出勤する前の人目につかない早朝の時間を狙った、ばれないと思った、と供述しています。ブロードリンクは管理体制に問題が会ったとしています。」

ブロードリンク役員「パソコンからハードディスクを抜き出した際には個数管理をしていましたが、破壊されたあとの個数との突き合わせが不十分でございました。手荷物検査を実施してはいましたが内容頻度とも十分ではございませんでした。」

ナレ「今後は入退室全てについて金属探知機を使用した身体検査と手荷物検査を実施する体制を取るとしていません。神奈川県がハードディスクを借りていた富士通リース、関東の自治体に問い合わせると神奈川県以外にも取引があったことがわかりました。情報流出について現在調査中だということです。総務省は自治体向けのガイドラインで情報機器を廃棄する場合、ハードディスクを復元不可能にするなどデータ消去の徹底を求めています。今回の事件を受けて総務省は情報機器を廃棄する再職員が立ち会うなど確実な処理を行うなど各自治体に通知しました。前代未聞の大量の行政データ流出、取り調べに対し高橋容疑者は親の医療費や介護費のために大金が必要だった、と供述しているということです。」

このトピックに当てられた時間は 338 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・北朝鮮：結論→特に問題なし

スタジオの小川キャスターの「昨日、北朝鮮が重大な実験を行ったと発表しました。アメリカのトランプ大統領は非核化に向けた協議に応じるよう求めています、ここに来て両者の応酬が激しさを増しています。」との

コメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"朝鮮中央テレビ「金正恩同志が竣工式の会場に到着すると嵐のような万歳の歓声が響き渡りました。」

ナレ「昨日のテレビ放送で、金正恩党委員長は新しく出来たリゾート施設にご満悦の様子でした、この施設は一年足らずで完成した、と紹介していて米による経済制裁の影響はないとのアピールが透けて見えます。更に、この日、北朝鮮がアピールしたのが。」

朝鮮中央通信「12月7日午後、西海衛星発射場で非常に重大な実験が行われた。」

ナレ「この非常に重大な実験、アメリカまで届くと見られる ICBM 大陸間弾道ミサイルのエンジン燃焼事件の可能性が指摘されています、なぜこの時期にアメリカを刺激する実験を行ったのでしょうか。」

"平井久志（共同通信社客員論説委員）「間違いなく、金正恩委員長がですね、今年の四月の施政方針演説で言った、アメリカとの交渉の期限をですね年末までと切ったことと深く関係しているとおもいますね。」

ナレ「4月、北朝鮮は非核化交渉の期限について一方的に年末と設定、非核化の見返りとしてアメリカに経済制裁の解除を求めています、交渉はうまく言っていません、10月にはスウェーデンで米帳の実務者競技が行われています、北朝鮮は交渉は決裂した、と主張、一方先月にはアメリカのポンペオ國務長官が北朝鮮の非核化について、あまりにもおそすぎる、と不満も表していました。交渉が行き詰まりを見せる中、先月末に、北朝鮮がある行動に出ます。日本海に向け2発の弾道ミサイルを発射したのです、一方この状況にトランプ大統領は」

トランプ大統領「彼はロケットを打ち上げるのが好きなのだろう、だから私はロケットマンと呼ぶのだ。」

トランプ大統領（2017年11月）「リトル・ロケットマン！」

ナレ「2年前、対決姿勢を鮮明としていた際のロケットマンとの表現を再び使用。すると北朝鮮側も。」

崔善姫（第1外務次官）「魔のような重大な時期に意図的に対決の雰囲気を増幅させる表現を使うなら、老いぼれの耄碌が再発したと診断すべきだろう。」

ナレ「こうした応酬が続く中、一昨日北朝鮮は ICBM 大陸間弾道ミサイルとの関連性が指摘される非常に重大な実験の自死に至ったのです。」

平井久志「お互いがむしろ競合路線を言い合うことで相手の譲歩を勝ち取ろうという罅迫り合いを今やってるんだともいますね。」

"ナレ「米朝の罅迫り合いは今も続いています。」

トランプ大統領（Twitter）「約束どおりに非核化しなければならない。」

トランプ大統領「敵対的に振る舞えばすべてを失いかねない。」

金英哲（党副委員長）「忍耐力を失った老人でとても焦っている。我々に失うものはない。」

ナレ「年末を期限としてきた非核化交渉、日本への影響は。」

平井久志「ミサイル発射のレベルを中距離のレベルとかに上げてくる危険性があるんですね、日本の上空をミサイルが飛ぶことになるかもしれないというふうなメッセージも既に出ているわけですよ。」

VTR を受けてスタジオでは小川キャスターの「北朝鮮の動きが活発になってきましたね。」というコメントに星キャスターが「そうですね、非核化しなくちゃいけないのは北朝鮮なんですけれども、勝手に年末という期限を設定して制裁解除しろって迫ってきてまさに北朝鮮ペースになっちゃっているわけですよ。トランプさんも大統領選挙を控えて足元を見られているという状況で平井さんが言ったように中距離のミサイルが飛んできますと日本にとって非常に脅威なんですけれども、アメリカにとってはそれほどでもないというところでトランプ

## NEWS23 週刊報告 詳細版

さんが果たしてどういう判断をしてくるかっていう意味では非常に深刻な事態になりつつあるという状況だと思えますね。」と応えていた。

このトピックに当てられた時間は 324 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・自衛隊の中東派遣：結論→特に問題なし

ナレーションによって「中東海域への自衛隊の護衛艦などの派遣計画について、政府は自民、公明の与党に概要を説明しました。両党とも反対意見は出なかったとのことですが、自民党から派遣場所によっては危険度が増すのでは、との指摘や、負傷した際に治療施設などに関する質問があったということです、一方公明党からは派遣期間を区切るべきという慎重論が相次いだ他、撤回を判断する場合の基準が曖昧としてき、また日本近海の調査研究とは違うとして政府の閣議決定が必要との意見が出たとのこと。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 44 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・桜を見る会：結論→印象操作の恐れあり

VTR の冒頭でナレーションが「桜一色とまで言われた臨時国会が今日、閉会しました。」と評していたが、実際には国会では桜を見る会以外についても議論されていた。それにも関わらず「桜一色」とまで評するのは、あたかも「野党は国会で桜を見る会以外の問題を提起していない」というような印象を与える恐れのあるものであると言える。

検証者所感

特になし



# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月10日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：玉澤徳一郎銃撃事件、寡婦控除、2015年に衛藤晟一氏にジャパンライフの元会長からお中元、COP25		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉澤徳一郎銃撃事件</li> <li>・ウランを購入した東京都内の高校生が書類送検</li> <li>・冬のボーナスが4年ぶりの減少予測も</li> <li>・予約の無断キャンセルの損害額が年間2000万円</li> <li>・寡婦控除</li> <li>・ノーベル化学賞の吉野さんまもなく授賞式</li> <li>・モラハラ問題で織田信成さんの訴えに大学が反論</li> <li>・2015年に衛藤晟一氏にジャパンライフの元会長からお中元</li> <li>・COP25</li> <li>・セブンイレブンが残業手当の未払いが4.9億円</li> <li>・中村哲さんの遺体が司法解剖される</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#冬のボーナス</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・玉澤徳一郎銃撃事件：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「まずは夜になって入ってきたこちらのニュースからお伝えします。農水大臣や防衛庁長官などを歴任した玉澤徳一郎氏が銃撃されました。撃った男は身柄を確保されています。」とのコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられた。</p> <p>"ナレ「農林水産大臣などを歴にした元衆議院議員の玉澤徳一郎氏、捜査関係者によりますと玉澤氏は今日午後、地元の岩手県内で銃撃されたということです、親族によると玉澤氏は現在、盛岡市内の病院に入院中だということです、玉澤氏と面会した元秘書によると銃弾は玉澤氏の足に当たりましたが手術で摘出し意識ははっきりしていると言います。」</p> <p>記者「ここ人が出入りしている様子は」</p> <p>近所の人「そうですね、まああんまり最近は見ただことないですね。」</p> <p>近所の人「車が午後3時くらいからずっとまわっていて、それが異様といえば異様なことだったんですけども本当にそれくらい」</p> <p>"ナレ「事件後、岩手県奥州市の高橋脩うじが回転式拳銃一丁と実弾一発を所持し警察に出頭、銃刀法違反の疑いで逮捕されました。」</p>		

高橋容疑者「拳銃は古い友人にもらった。」

ナレ「高橋容疑者は玉澤氏と同級生だということで玉澤氏とトラブルがあったと見られています。警察は動機などを更に追及しています。玉澤氏は現在 81 歳、海部元総理の秘書を経て、1976 年、衆議院選挙で自民党から出馬し初当選、その後、旧岩手 1 区などから出馬し、これまでに当選 9 階、1994 年に村山内閣で防衛庁長官として初入閣、1999 年の小渕内閣や 2000 年の森内閣では農林水産大臣に就任。」

玉澤徳一郎（1999 年）「何回座っても座り心地はいいと思います。」

ナレ「2009 年に政界を引退しました。2013 年には旭日大綬章を受賞しています。政界の大物がなぜ狙われたのか。このあと、現地から最新情報です。」

VTR を受けてスタジオと中継の間で以下に朱記したやり取りが繰り返され広がられた。

"小川彩佳「玉澤徳一郎氏が銃撃されました。男が身柄を拘束されている盛岡東警察署には武田記者がいます、武田さん最新情報をお願いします。」

武田さおり（報告）「玉澤氏を撃つと見られる高橋容疑者がいる盛岡東警察署です。先程まで大勢の報道陣が詰めかけ、非常に物々しい雰囲気でした。高橋容疑者は今日午後 2 時頃こちら盛岡東警察署に実弾一発が入った拳銃を持って自首しました。警察によりまずと拳銃には使用済みの薬きょうが入っていて高橋容疑者は人を撃つたという旨の供述をしています。また警察署には自家用車で訪れたと言います、またインターネット上には高橋容疑者と同級生という同姓同名の人物が玉澤氏に過去、選挙資金 1000 万円を課したが返済されていない、と告発文が載っています。警察は高橋容疑者が玉澤氏の銃撃に関わっていると見て調べていて、高橋容疑者と玉澤氏の関係についても今後調べが進むと思われます。」

小川彩佳「武田記者の報告でした。」

このトピックに当てられた時間は 255 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・寡婦控除：結論→問題あり

スタジオで小川キャスターの「結婚をせずに子供を生んだ、いわゆる未婚の母が税金面で差別を受けていると訴えています、長年先送りが続いてきたこの問題ですが、今夜一応の決着を見たみたようです。」とのコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられた。

ナレ「2 歳の子供を保育園に迎えに行き家路につく A さん、A さんは国の制度に強い不満を示します。」

A さん「何でその結婚してないで区別をするのかわからない。一種の人種差別みたいな感じですよ。」

ナレ「A さんは未婚の母、3 年前に妊娠しましたが相手の男性から結婚できないと告げられました。」

A さん「話した時に一番最初に言われたのがおろしてほしい、結婚できないと言われて、ってことは私は一人でこの子をを産むしかないなって、A さんはそれでも出産、しかし後に未婚の母は差別されていると気付くようになります。理由は寡婦控除という制度。夫や妻と離婚や死別したひとり親に対して税金の負担を軽くするものです、最大 35 万円の所得控除を受けられます、しかし婚姻歴のない未婚のひとり親にはこの税制優遇は適用されないのです。」

A さん「シングルマザーという括りで言ったら一緒ですよ、っていう。それは産むなって言っているのと一緒だよ。」

ナレ「未婚のひとり親は税による優遇を受けられない寡婦控除、与党内で今年の税制見直しの最大の焦点となっ

ています、実は長年に渡って議論されてきましたがそのたびに見直しは先送りにされてきました、なぜなのか。」

"

"甘利明（自民党税制調査会会長）「伝統的な家族観という価値観を強くお持ちの方は多くいらっしゃいますし、それは決して間違っていないと思います。」

自民党議員「婚姻制度が崩壊してしまう。」

自民党議員「未婚の出産を助長する」

ナレ「こういった声が自民党内に根強いというのです。街の人は。」 "

"街の声 A「やっぱりちゃんと家庭持って結婚して、生んだほうが子どものためにもいい。」

街の声 B「今、いろんなライフスタイルが変わりつつあると思うので、そこに順応して税制とかも変わってくべきなのかなと思います。」 "

"ナレ「これまでの議論では寡婦控除とは別に未婚のひとり親だけを対象にした新たな制度を作る案が浮上していましたが、今夜。」

甘利明「未婚のひとり親に寡婦ないし寡夫控除を適用する、」

ナレ「政府与党は所得が 500 万円以下の未婚のひとり親に対し寡婦控除の制度を適用することで合意しました。」

"

"A さん「もうちょっと生活しやすいとか笑顔で生活できるような環境があつたらいいかなと思いますね。」

ナレ「未婚の母親によりやく差し出された救いの手、今回の決定は明後日に発表される税制改正大綱に盛り込まれます。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「子育てとそして仕事を両立させてただでさえ、一手に担って大変なシングルマザーの方たちですから、こうした不公平感が亡くなるという意味で今回の合意は非常に大きいと思うんですけども、今回も自民党内では夫婦別姓の議論と同じようにいわゆる伝統的な家族観にこだわる立場からの慎重論も根強かったというんですけどもこのタイミングで急転直下というのはどういうことなんでしょうか。」

星浩「これはですね、決め手になったのは公明党なんですね、公明党は前からこの制度、未婚の母に対する控除を主張してしまして、自民党は慎重論が多かったんですけども、まあの公明党には選挙で世話になっている、自民党からすればね、それから公明党は次の総選挙などに向けてね、この問題をやっているとおアピールも出来ますので、そういう点で思惑が一致したんでしょう。ただまあの家族の在り方が多様になっている中でこういうその未婚の母に対する控除の拡大というのは当然といえば当然、むしろ遅きに失したというぐらいだと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 307 秒だった。

スタジオでは星キャスターが「家族の在り方が多様になっている中でこういうその未婚の母に対する控除の拡大というのは当然といえば当然、むしろ遅きに失したというぐらいだと思いますね」と未婚の母に対する控除の拡大についてコメントしていた。しかし一方で、VTR ではこの寡婦控除について「寡婦控除という制度。夫や妻と離婚や死別したひとり親に対して税金の負担を軽くするものです、最大 35 万円の所得控除を受けられます、しかし婚姻歴のない未婚のひとり親にはこの税制優遇は適用されないのです。」と説明されており、寡婦控除は税制優遇であるということが明確に述べられていた。

## NEWS23 週刊報告 詳細版

特定のライフスタイルに対して税制優遇を行うということは、他のライフスタイルに対して負担を押し付けるということにほかならない。本当にライフスタイルの多様性であるとか、家族の在り方の多様化ということを考えるのであれば、特定のライフスタイルや家族の在り方に対して税制優遇を行うということそれ自体に対して反対するという意見が出てきてもいいはずだが、そうした声は一切取り上げられることがなかった。

そうした意味では、報道の構成として、非常に偏ったものであり、放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして問題があるといえる。

- ・ 2015年に衛藤晟一氏にジャパンライフの元会長からお中元：結論→特に問題なし

衛藤消費者担当大臣が2015年にジャパンライフの山口元会長からお中元を受け取っていたことについて以下に朱記したように伝えられた。

衛藤晟一（消費者相）「事務所の方に確認をいたしました、2015年にお中元を頂いたということでございます。」  
ナレ「衛藤消費者担当大臣はマルチ商法で経営破綻したジャパンライフの山口元会長から2015年にお中元を受け取っていたことを明らかにしました。中身については記録はないとした上で、当時の秘書の記憶によれば石鹸かタオルではないかとしてます、一方で山口氏との個人的な付き合いについては否定しています。」 "

このトピックに当てられた時間は35秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ COP25：結論→特に問題なし

COP25について以下に朱記したようなVTRが伝えられた。

小泉進次郎環境相「まずは石炭の批判から逃げないということですね、ブーイングは初当選のときから結構慣れっこです。」

ナレ「気候変動対策を話し合う国連会議 COP25 は今日から閣僚級の会合が始まりました。二酸化炭素を多く排出する石炭火力発電所の新たな建設計画をすすめる日本はその姿勢が厳しく問われていますが、小泉大臣は日本は何もやっていないわけではないので出来る限り前向きなメッセージを発するために調整した、ご理解いただくためにもしっかりと向かいたいとしました。」 "

このトピックに当てられた時間は43秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月11日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：COP25、トランプ大統領、玉澤氏銃撃事件		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元農水事務次官の長男殺害事件</li> <li>・COP25</li> <li>・中村哲さんの葬儀</li> <li>・広島市で中学生転落死</li> <li>・トランプ大統領</li> <li>・ノーベル化学賞受賞者の吉野さん</li> <li>・玉澤氏銃撃事件</li> <li>・防災備蓄用おむつが廃棄のはずが転売</li> <li>・警備会社の金庫から 3.6 億円を盗んだ被告の初公判</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#ネット転売</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COP25：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「続いてのニュースです。気候変動対策について話し合う COP25 で今夜演説したのは小泉環境大臣です。石炭火力発電を巡って開催地スペインでは日本を名指したデモが行われるなど国際社会から厳しい目が注がれていますけれども、そうした批判に小泉大臣はどう応えたのでしょうか。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「遠くからやってくる人の波、その中心にいるのは青いパーカーを着たグレタ・トゥンベリさんです。16歳の環境活動家は今日、名実ともに時の人になりました。先程アメリカの雑誌タイムが今年の人を発表、漠然とした不安だった環境問題をすぐに行動しなくてはならないと世界的な運動に変えたとして、グレタさんを受賞者に選んだのです。」</p> <p>グレタ・トゥンベリ「世界のあらゆる場所で認識が足りないと感じる。選挙で選ばれたリーダーにも全く認識がない、全く危機感がありません。」</p> <p>ナレ「そのグレタさんも参加しているのが気候変動対策を話し合う国連の会議 COP25。各国の閣僚級会合に出席した小泉環境大臣は。」</p> <p>小泉環境相「私は来年、父親になります。2050年以降の未来を揺るぎないものにする責任がある。もちろん世界で日本の石炭関連政策などに批判があることは承知している。」</p> <p>"デモ「石炭やめろ、日本。石炭やめろ、日本。」</p>		

ナレ「会場の外に現れたのは石炭に乗った安倍総理の人形。彼らは世界各国の環境 NGO、日本の石炭政策に抗議しているのです。」

デモ「私たちは破滅的な気候変動とたたかっているが、日本が石炭を使うことで足を引っ張っている。」

ナレ「火力発電の中でも、最も温室効果ガスの排出量が多い石炭火力発電、日本は発電量全体のうち 33%を占めています、更に日本は今後の対策についても不十分だと批判されています。主要な先進国は石炭火力発電をいつまでに止めるのか具体的な期限を決めています、しかし日本は火力発電への依存度を可能な限り引き下げるとして曖昧なままにしているのです。」

梶山弘志（経済産業相）「私どもはまだ国内も含めて石炭かつ化石燃料の発電所というものは選択肢として残しておきたいと考えております。」

"ナレ「日本は現在、22 の石炭火力発電の新設計画があり全て稼働すれば二酸化炭素排出量は年間 7474 万トン増えるという試算もあります、更に日本の NGO の調査ではベトナムやインドネシアなどへの輸出も続き投融資などの総額は日本円でおよそ 2.8 兆円に及びます。日本は温暖化対策に消極的な国に送られる不名誉な化石賞を受賞するなど世界の風潮から遠ざかっているのが現状です。化石賞受賞についてノーベル化学賞を受賞した吉野さんからもこんな苦言が。」

吉野彰「なんか、化石国に認定されたんでしょ、みっともないね。COP25 で小泉進次郎さんが喋られますよね、私どういことを喋られるのか楽しみにしているんですよ。」

ナレ「COP25 で石炭火力発電についての踏み込んだ発言はあるのか小泉大臣は。」

小泉環境相「きょう、石炭政策についてお知らせできるような新たな展開はありません。しかし、これだけはいたい。私自身を含め今以上の行動が必要と考えるものが日本で増え続けている、我々は脱炭素社会に完全院コミットしているし、必ず実現する。」

小川彩佳「そしてこの会議の開催地、スペインも気候変動の影響に悩まされているんですね、スペインの南部は果物などの産地として知られるのですが。そこで急速に進んでいるのは砂漠化、なんです、手遅れになる前に、ということで現地で始まった対策取材しました。」

"ナレ「スペインの首都、マドリードの南側に位置するアンダルシア地方。ヨーロッパのフルーツバスケットと呼ばれ、野菜や果物などの世界有数の農産地として知られています、この地域でオリーブを栽培しているミゲルアンヘル・カサドさんです。」

ミゲルアンヘル・カサドさん「例年干ばつが酷いため、収穫量はかなり少ないです。干ばつで農業を続けるのは厳しいです。」

ナレ「気候変動の影響による干ばつで農地は慢性的な水不足。農業をやめざるを得ない人が後をたたないといえます。」

"西村匡史（報告）「こちらは以前、一面にくるみの木がある果樹園でしたが現在は土地が乾燥しすぎて木が枯れてしまい、このように放置された状態です。」

ナレ「スペイン政府の報告書によりますと、水不足のため、農作物が育ちにくい乾燥・半乾燥地帯は 2000 年にはスペイン全土の 3 割未満でしたが、今世紀末には半分を超える見通しです、砂漠化が進むのうち、カサドさんは干ばつを招いている喜久雄変動に対し、危機感を募らせています。」

ミゲルアンヘル・カサド「農家だけの問題ではないんです、気候変動は皆の問題で今すぐ解決しなければなり

ません。」 "

"ナレ「アンダルシア地方では今、温暖化を食い止める取り組みが進められています。広大な土地に並べられた無数の鏡、八年前に建設された世界初の集光型太陽熱発電所です。太陽光を 2600 枚以上の反射鏡で中央のタワーに集め、その熱によってできた蒸気でタービンを回します。再生可能エネルギーのため、二酸化炭素の削減量は年間 30000 トンになるといいます。熱を溜め込むことができることから 24 時間稼働させることが可能で、課題となる発電コストも下がりつつあります。」

ヘマソール発電所所長「残された時間は殆どありませんが、手遅れではないと思います。私たちは行動することができるし、行動しなければなりません。」

ナレ「地球温暖化対策を話し合う COP25 各国がどういう具体策を示せるかが、問われています。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「そうしたなか、日本はといいますとこちらイギリスの経済誌ファイナンシャル・タイムズ、フィナンシャル・タイムズなんですが、この中にですね、こんな全面広告が掲げられているんです。こちらちょっと映させていただきますと、安倍総理なんですけれども、安倍総理が首にかけているのは、ゴールドメダル、ならぬコールメダル、石炭メダルということなんです、国内外の環境団体がこぞって日本の石炭火力政策を批判するこうしたキャンペーンを展開しているわけですが、石炭火力に巨額の資金を注ぎ込んでいる、ということでこうして批判されているんですね。」

星浩「そうですね、これ経済誌に載せているのが意味があって、石炭火力にお金を出しそうなね、経済人に対する警告でもあると思うんですが、ヨーロッパで今、市民グループが石炭火力に融資する銀行にね、猛烈に抗議を続けてまして、融資見合わせっていうのは相次いでいるわけで、その流れは実は日本にも波及しているというのが現状ですよ。」

小川彩佳「そうなんです、そうした日本の厳し立場を受けて今日、小泉大臣がどんな演説を行うのか注目されましたけれども、このように語りました。残念アングラ今日のところは日本の石炭火力政策について新たな進展はない、ということで、脱石炭を必ず実現するとしつつも具体策については今回も言及はありません。」

星浩「そうですね、今回の会議で国際世論から厳しい批判を浴びて、その外圧で日本国内の改革をすすめるっていう一つのやり方だったと思うんですが、結局そういう外圧利用っていうのはやらなかったわけですね、やっぱり小泉さん自身にそのどういう覚悟があるのか、石炭火力についてです、そこが未だに定まっていないというところが原因だと思うんですね、これから小泉さん日本に帰ってきてどういう覚悟で石炭火力に切り込むかということをはっきりさせる必要が出てきたと思いますね。」 "

このトピックに当てられた時間は 641 秒で特に問題は見られなかった。

・トランプ大統領：結論→特に問題なし

スタジオの小川キャスターの「さて、こちら、権力の乱用と議会の妨害、この 2 つの罪に当たるとして弾劾、つまりやめさせようとする動きが出ているのがアメリカのトランプ大統領なんです、トランプ氏本人は魔女狩りだと猛反発しています。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられた。

"トランプ支持者「あと 4 年！あと 4 年！」

ナレ「支持者の前でトランプ大統領は不満をあわらわにしました。」

トランプ大統領「下院民主党はきょう、薄っぺらで哀れでばかけた弾劾条項を 2 つ発表した。」 "

ナレ「トランプ氏が薄っぺらでばかけていると反発しているのはアメリカ議会下院、司法委員会のこの決定、」  
ナドラー下院司法委員会「憲法と国家に対する義務を果たすため、下院司法委員会は、トランプ大統領を弾劾訴追する 2 つの条項を発表します、権力の乱用と議会妨害です。」 "

ナレ「いわゆるウクライナ疑惑をめぐってトランプ大統領を弾劾訴追する根拠を公表したのです、ウクライナ疑惑とは来年の大統領選で野党民主党の有力候補バイデン前副大統領、その息子が役員を務めていたウクライナの企業が汚職捜査を受けた際に、バイデン氏が捜査を阻止しようとしてトランプ氏がウクライナのゼレンスキー大統領に対し軍事支援や首脳会談の開催と引き換えにバイデン氏に関する調査をするよう圧力をかけたとするものです。トランプ氏はゼレンスキー大統領との 7 月の電話会談で、調査の協力を促していましたが、トランプ大統領は圧力はかけていない、と否定しています。」

敏ドマン陸軍中佐（NSC ウクライナ政策担当）「アメリカ大統領が外国政府に対し市民や政敵の調査を求めるのは不適切だ。」 "

ナレ「議会下院では先月、ウクライナ疑惑をめぐる公聴会が開かれホワイトハウス当局者やウクライナ駐在の代理大使らが相次いで証言に立ち、トランプ氏を批判、民主党はトランプ大統領がライバル候補に打撃を与えるため、外交を利用したとして、権力の乱用、そしてトランプ氏が下院での弾劾調査への協力を拒んだことなどを議会に対する妨害にあたるとしています。」

"トランプ大統領 (Twitter) 「魔女狩りだ。」

トランプ大統領 (Twitter) 「何も悪いことをしていない大統領を弾劾するのは政治的狂気だ。」 "

ナレ「トランプ氏は Twitter でも猛反発していますが、下院で多数を占める野党民主党は来週にも本会議でトランプ氏の弾劾訴追を可決したい考えです、ただ弾劾裁判を行う上院は共和党が過半数を占めていて、トランプ氏が有罪となり罷免される可能性が低いのが実情です、トランプ大統領の弾劾について最新の世論調査では支持するが 47.7%、支持しないが 45%と賛否が割れていて、民主党としてはトランプ氏の不正や横暴さを世論に訴える考えです。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「弾劾裁判が行う議会上院はトランプ大統領の与党共和党が優位ですから弾劾可決されるには 20 人ほどの与党側の造反が必要になってくる、となると実際にトランプ大統領がやめさせられるというところまではいかない。」

星浩「そう、今のところまだ数は足りないところですね、ただトランプさんからすると新しい事実がこれから出てくるんじゃないかとか、連日これから上院で追及が始まるんで、気が休まらない、そうすると日本にとっても私、ひとごとじゃないと思うのが、これ巻き返しのためにね、色々人気取りの政策をやる、北朝鮮との妥協に走るとかですね、在日米軍の負担を増やせとか、いろんな事を言ってきて日本ももしかしたらとばっちりを受けるのではないかと、それが心配ですね。」

小川彩佳「はい、困ったものですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 291 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。



・玉澤氏銃撃事件：結論→特に問題なし

ナレーションによって「農林水産大臣や防衛庁長官などを歴任した玉澤徳一郎氏が銃撃された事件。拳銃を持って自首し逮捕された同級生の高橋脩容疑者が玉澤氏を撃つと話していたことがわかりました。高橋容疑者は選挙資金として貸した 1000 万円の返済に玉澤氏が応じないとしてインターネット上に告発文を掲載していたことも判明。警察は殺人未遂での疑いの再逮捕も視野に捜査を進めています。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・ COP25

スタジオでの星キャスターは「今回の会議で国際世論から厳しい批判を浴びて、その外圧で日本国内の改革をすすめるって一つのやり方だったと思うんですが、結局そういう外圧利用ってのはやらなかったわけですね」と妙に外圧に対して肯定的なニュアンスの発言をしていて、以外だった。

また、小川キャスターは環境団体がフィナンシャル・タイムズに広告を打ったことを取り上げていたが、そうした資金力というのはどこからきているのか、見ていて非常に気になった。

放送法上問題とは言えないまでも、今回の報道構成は日本の火力石炭政策に対する批判に偏っていたものであった。確かに日本の火力石炭政策が環境という点では必ずしも褒められたものではないにしても、フランスなどのヨーロッパ諸国との違いとして火力石炭の代替となる有力なエネルギーである原発についても政策の方向性が定まっていないという問題や、エネルギーミックスをどうするかという点について国民の間でも合意が形成できていない、という難しさについても取り上げたりしなければ、やはり放送法第四条一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点ではやや不十分なきらいがあると見られても仕方がないものではなかろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月12日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：「桜を見る会」をめぐる諸疑惑、在沖米軍基地問題、ヘイトスピーチ規制、公職者の倫理		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長男殺害で逮捕の元農水次官、被告人質問「震えが来るほどの恐怖」と語る</li> <li>・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑</li> <li>・在沖米軍基地問題</li> <li>・英国総選挙投票始まる、与党保守党優勢</li> <li>・ヘイトスピーチ規制</li> <li>・文科省が来年度からの大学入学共通テストへの記述式問題の導入見送りで最終調整</li> <li>・公職者の倫理</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑→結論：問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「国会は終わりましたが、こちらは終わりません。「桜を見る会」の問題です。総理枠での招待が疑われているマルチ商法「ジャパンライフ」の元社員だという男性が招待状を悪用していた実態について取材に応じました」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ジャパンライフ元社員男性「全国に 80 店舗ある会社が一気につぶれる、一気になくなるのは、大変なことだと思います。私は社員側ですから当然加害者側なんだと思います。」</p> <p>ナレーター「「私は加害者側なんだ」という告白、今日「桜を見る会」を追及する野党のヒアリングに呼ばれたのは、被害の訴えが相次ぐマルチ商法「ジャパンライフ」の元社員の男性です。」</p> <p>ジャパンライフ元社員男性「元社員の私自身もこの資料を見ると、ジャパンライフってとってもいい会社なんだな、これからもずっと続く会社なんだろうなとそう実際思いました」</p> <p>ナレーター「「この資料」というのは、国会で問題になったあの宣伝ビラのことです。「安倍晋三内閣総理大臣から山口会長に「桜を見る会」のご招待状が届きました」</p> <p>「桜を見る会」の招待状をジャパンライフの山口元会長がどう利用したかについては、元社員の男性はこう証言しました。」</p> <p>ジャパンライフ元社員男性「この資料は山口元会長と業務支援部の社員が綿密に打ち合わせて作られた資料です。全国 80 店舗ありました当時、そこでセミナーを開催していたわけなのですが、その時にお客様の前でスライドに映して見せていました」</p> <p>ナレーター「そして「桜を見る会」の招待状の効き目について、こう指摘します」</p> <p>ジャパンライフ元社員男性「やはり「ジャパンライフは不安だな」と思っていたお客様も、当然この資料が出れば信用します。セミナーに初めて参加された方がこの資料を見るだけでジャパンライフって安心できる会社な</p>		

んだねって方がたくさんいました。それで契約も上げられていました、実際に」

ナレーター「マルチ商法への被害を拡大させた疑いがある山口代表への招待状、その正体は区分番号から総理枠ではないかという疑いについて安倍総理は？」

安倍晋三氏（首相）「山口氏（元会長）と1対1のような形でお会いしたことはありませんし、個人的な関係は一切ございません」

ナレーター「「一切関係ない」となれば、なぜ総理枠とみられる区分番号で招待されたのか。そもそも山口元会長にどんな「功労功績」があって招待されたのか。政府は「招待者名簿などを廃棄したため検証できない」などと説明。では廃棄した資料のデータを復元できれば、謎は解けるはずですが。」

安倍氏「招待者名簿については、適正に廃棄しているところであります。データの復元についても不可能であるとの報告を受けたものと承知をしています。」

ナレーター「バックアップの電子データも復元が不可能という主張、ところが今日の内閣府のヒアリングではこんなやりとりが」

黒岩宇洋氏（衆院議員、立憲民主党）「復元することは考えていない」となっているのですよね。（「不可能」と）全く意味が違いますよね」

内閣府担当者「復元をやる、やらないは考えていませんが、そもそも技術的に不可能ということは変わっておりません」

ナレーター「問題となったのは一昨日出されたこの答弁書、政府は新たにこんな閣議決定を行っていたのです。」

「招待者名簿が記録された電磁的記録は、復元することは考えていない。」これについて問われた菅官房長官も」

菅義偉氏（官房長官）「紙媒体も電子データもすべて削除しているとの報告を受けており、新たな調査を行うことは考えていません」

ナレーター「「電子データの復元は考えていない」という新たな閣議決定について公文書管理の専門家は？」

三宅弘氏（弁護士、元公文書管理委員）「復元を考えていない」と言い切るところが公文書管理法の主旨を誤解しているのではないかと。違法です。公文書管理法違反といえるでしょう。バックアップデータを行政文書として考えて、当然復元するのが公文書管理法の主旨だと」

ナレーター「公文書管理について、森友・加計問題での不適切な管理を反省して保存期間を見直したはずですが」

三宅氏「モリカケの時に、こういうような招待者名簿も含む意思決定過程の政策の跡付けに必要なものは、原則1年以上（保存）にとしたわけですから、そもそも1年未満にしたこと自体が問題。公文書管理法や情報公開法を正しく解釈しようというよりは、都合の悪い情報は出さないで政局を乗り切るという態度がありありとしている。」

ナレーター「一方、政府はデータ復元問題とは別にこんな閣議決定も行っていました。」

「反社会的勢力」については統一的に定義することは困難である」

「反社会的勢力」という用語の定義ができないとはどういうことでしょうか？」

記者「反社や半グレと指示される方は会場にいたのか。なぜ「桜を見る会」に参加できたのでしょうか。」

菅氏「私は反社会的勢力や暴力団がいたということは一切申し上げていません」

ナレーター「「桜を見る会」に反社会的勢力まで招待されていたのではないかという疑惑」

杉尾秀哉氏（参院議員、立憲民主党）「反社勢力、半グレ組織といわれる謎の面々もいらっしやる。菅長官と2ショットの写真を撮っている」

菅氏「桜を見る会の会場におきまして、私自身多くの方と写真撮影をし、ご指摘の人物とは面識はありません。」

ナレーター「「反社会的勢力」は「桜を見る会」に入っていたのか、入っていないのか、追及を受けた政府側は新たに「定義が困難」などと閣議決定を行ったのです」

菅氏「「反社会勢力」については、その形態が多様であり、その時々々の社会情勢に応じて変化しうるものであることから、あらかじめ限定的かつ統一的に定義することは困難である」

ナレーター「しかし、政府は2007年「反社会的勢力」について民間企業に対策を促す指針では、こう明記されていました。「暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団または個人である「反社会的勢力」」

記者「定義が困難であるならこの指針は何だったのでしょうか？」

菅氏「現在、民間企業においてはこの指針を踏まえた上で、暴力団をはじめとする反社会的勢力との関係の遮断の為の取り組みを着実に進めている」

ナレーター「今回の閣議決定の問題点について、反社対策に取り組んできた専門家は」

尾崎毅氏（弁護士）「問題が起きた時に「そもそも概念自体が曖昧だろう」というのは、反社側あるいは反社と疑われた側の論法なわけですよ。企業はそこに苦勞をし、裁判でも争われているわけですから、だから政府がこのような答弁をするのは極めて強い違和感があるんですね。枠組み自体が曖昧だと言ってしまうと「反社排除を進めること自体ができないのでは」という声になってしまう可能性もある」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「今更「反社会的勢力」の定義があいまいとはどうなんだろうと思ってしまうのは、今年を思い返しても吉本の芸人さんの闇営業が問題になって、改めて「反社会的勢力」との距離感が問われたわけですね。民間企業がこのように対応を慎重に行っているのを考えると、この政府の対応はあまりにも積然としないですが」

星キャスター「この「反社会的勢力の定義がはっきりしない」というのは非常に問題ある閣議決定だと思いますね。なぜかといえば、民間団体に対して（「反社会的勢力」を）排除してくださいと言ってるわけですので、定義がなければどういう基準で排除していいかわからないのですよね。もう一つはどういう基準でこの名簿を廃棄されたか謎なのですが、自民党関係者に訊いてみますとどうやら招待者名簿に「反社会的勢力」が載っていたという可能性があるんじゃないかと言うのですよね。それでまず廃棄しようということになって、仮にその名簿の中に名前が出てきたとして、その時は対象者かどうかわからなかった、定義がはっきりしてなかったということで乗り切ろうとしているのではないのでしょうかね。だとしたら極めて悪質なことですので、まさに徹底的な真相解明が必要になってきますね」

このトピックに当てられた時間は612秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・在沖米軍基地問題→結論：問題なし

小川キャスターの「では、続いてのニュースです。こちらは上空から撮影しました、今日の名護市辺野古の埋め立て工事の様子です。ここに在日アメリカ軍基地が建設されようとしているわけですが、この土砂の投入から明後日でちょうど1年となります。」、山本キャスターの「見てみますと、かなり進んでいるように見えるのですが、実は埋め立て全体のうちの僅か1%ほどであることがわかりました。完成の日は来るのでしょうか、探ってみました」との各コメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

村瀬健介氏 (TBS 記者) 「この山から削り取られた土砂が辺野古の埋め立てに使われています。私たちの前を走るダンプカー、荷台に乗せられるのは辺野古に運ばれる土砂です。」

ナレーター「沖縄県名護市安和、辺野古とは反対の西海岸側にこの鉱山があります。掘削された土砂はほぼ毎日 100 台以上のダンプカーで港まで搬送され、海から辺野古に運ばれていきます。土砂の搬出から 1 年を超え、港には抗議する市民が集まっています。抗議活動により船は岸に近づけず、この日土砂の搬入は見送られました。」

抗議参加者「沖縄県民があれほど反対しているのに、ごり押ししてやるのが民主国家なのか。」

ナレーター「土砂を海に落としていきます。去年 12 月、国が始めた辺野古への土砂投入、次から次へと土砂が海中へ投入されました。そして 1 年経った今日の様子、かなり進んだようにも見えますが、埋め立て全体に対しては国が示したデータから計算すればおよそ 1%しか進んでいないことがわかりました。」

河野太郎氏 (防衛相) 「今後の見通しについては、現時点で確たることを申し上げるのは困難。」

ナレーター「完成する時期は不明とする防衛省。この基地建設を巡ってはこれまでも多くの問題が指摘されています。土砂は環境への影響を考慮し、泥や土などの微粒子の割合を 10%程度にすることが定められています。しかし防衛省は 2 年前 40%で業者に発注したことがわかっています」

岩屋毅氏 (前防衛相) 「護岸で締め切る前に埋め立てを実施する場面を想定したもので、環境に対する影響が発生することはないし、今も起こっていない」

ナレーター「防衛省は「環境に影響はない」として、県が求める立ち入り調査を今も認めていません。ところが、これは 2 月の埋め立て区域の護岸の映像、汚れた水が漏れ出ているのがわかります。この付近は海草が繁茂していて、それをエサとする小魚や貝など多様な生物の宝庫でした。しかし工事後は周辺の潮の流れが変化することで海水がよどみ、砂よりも微粒子が海草に積もりました」

ナレーター「画面左側の埋め立てが始まっている区域、水深が浅いため緑色をしています。画面右側の区域は、水深が深いいため濃い青をしています。その区域に深さ 90m のマヨネーズ状の軟弱地盤が広がっています。そのままでは埋め立てられないため大規模な地盤改良が必要です。しかし日本の作業船で地盤改良できるのは海底 70m まで。専門家は地盤沈下が起きる可能性を指摘します。」

鎌尾彰司氏 (日本大学准教授) 「沈下量も 25 年~50 年くらいの長期にわたると 1m を超えるような沈下になってしまう。1m も段差になると、たぶん (基地の) 機能としては果たせないと思う。この点について防衛省は「水深 70m の地盤改良で安定性を保てる」との見解を示しています。」

小野寺五典氏 (防衛相※当時) 「大まかな見積りでお話をいたしますと少なくとも 3500 億円以上を見込んでいます。」

ナレーター「未だ埋め立て量 1%あまりに留まる工事ですが、総工費 3500 円以上の 4 割にあたるおよそ 1500 億円を支出しているのです。本当にこの計画は妥当と言えるのか、沖縄県の玉木デニー知事は」

玉城デニー氏（沖縄県知事）「私たちがあえて独自に試算をしてみました。基地の建設工事が2兆5500億円かかる、これだけの時間と国民の予算を使うことの正当性、今の段階で私は既に崩れているのではないかと思います。これ全体が埋め立てだとすると、これだけしか入っていない。たったこれだけ1%、諦めるべきところに来ているのでは決してないということを皆さんにしっかり訴えながら、更に政府に対しては民主主義の当然な対話によるお互いの協議によって問題を解決するという姿勢を求め続けてきた」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「ここで思い出していただきたいのが、2月に行われた県民投票なんですね。この県民投票は法的拘束力はありませんし、投票日の当日は強い雨が降っていたにも関わらず、52.8%の方が投票に行き、7割以上が辺野古移設に反対の民意を示したわけですね」

星キャスター「7割の人が反対していました。基地というのは安全保障を担うのですが、周辺の人々の理解がないと足元は弱いですね。費用の方も国の方は全体像を示していなくて、2兆円も掛かると言っているのですが、これだけ税金を投入することが果たしてよいのか全体像の中で議論をし直す必要があると思いますね。」

小川キャスター「そして費用に加えて、去年沖縄県が公表した試算によれば移設完了までには13年掛かると。この10年、20年を見回しても、国際情勢だったり軍事装備品の状況は変わっているわけですから、13年、その時にはどうなっているのかなと」

星キャスター「アメリカ政府のなかでもハワイやグアムに海兵隊が戻っても抑止力が保てるという議論も出ているのですよね。最近、軍事技術が向上しているわけなので、どんどん情勢が変わっているわけですね。ですから海兵隊が殴り込みをかけるという事態が果たして生じるかどうか疑問なんですね。ですから東アジアの安全保障の環境や軍事技術の変化など全体像を踏まえて議論をし直す、そういう時に来てると思いますね」

このトピックに当てられた時間は527秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ヘイトスピーチ規制→結論：問題なし

山本キャスターの「全国で初めてヘイトスピーチに対する刑事罰を盛り込んだ差別禁止条例が可決・成立しました」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

川崎市議会で、「川崎市差別のない人権尊重街づくり条例」が可決・成立しました。条例では、公共の場所において特定の国や地域の出身者への差別的言動などが禁じられています。違反すると、市長から勧告、命令が出され、それでも従わない場合には個人の名前や団体などが公表され、50万円以下の罰金が科せられる可能性があるとのこと

このトピックに当てられた時間は42秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・公職者の倫理→結論：問題なし

以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

「今日発売の週刊文春で、和泉総理補佐官が厚労省幹部の女性と出張先で公私混同をしていたのではないかと疑惑が報じられています。菅官房長官は「私費で支払っており、適切に対応していると聞いている」と述べ、和泉氏から「公私はしっかり分けていた」と報告を受けたことを明らかにしました。」

このトピックに当てられた時間は 26 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑

星キャスターは、「反社会的勢力」については統一的に定義することは困難である」との旨の閣議決定が行われたことに関して、「この「反社会的勢力の定義がはっきりしない」というのは非常に問題ある閣議決定だと思いますね。なぜかといえば、民間団体に対して（「反社会的勢力」を）排除してくださいと言ってるわけですので、定義がなければどういう基準で排除していいかわからないのですよね。」とコメントし、今回の閣議決定が民間団体による反社会的勢力排除の取り組みに支障をきたす可能性に言及しており、検証者もこれについては同意するが、別の懸念点として挙げられることとして、「反社会的勢力」を「その時々社会情勢に応じて変化するもの」「あらかじめ限定的かつ統一的に定義することは困難である」と規定したことは、警察をはじめとした行政機関等が恣意的に「反社会的勢力」か否かの判断を下すことを正当化する論理に繋がりがねないのではないかと。

ちなみに、安倍内閣のもとで発せられたいわゆる「民泊」事業にかかわる諸規則を定めた、平成 30 年 4 月 13 日国土交通省告示第 617 号の標準住宅宿泊仲介業約款の第 6 条 2 号では「反社会的勢力」について以下の定義付けがなされている。

「二．宿泊者が、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係者、暴力団関係者又は総会屋等その他の反社会的勢力であると認められるとき。」

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年12月13日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：米中関係、「桜を見る会」をめぐる諸疑惑		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長男殺害で懲役8年求刑の元農水次官が語った後悔</li> <li>・裁判員の苦悩、究極の判断を迫られる市民たち</li> <li>・保守党が歴史的勝利、EU離脱濃厚へ</li> <li>・職場における性的マイノリティの生きづらさ</li> <li>・環境活動家のグレタさん(16)、トランプ大統領に皮肉で対応</li> <li>・米中関係</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米中関係→結論：問題なし 以下に朱記したVTRが取り上げられていた。 ナレーター「アメリカの複数のメディアは12日、米中の貿易交渉で両政府が農産品などに限定した第一段階の大筋合意に達したと報じました。アメリカが15日に予定している1600億ドル分の追加関税の発動を先送りするほか、これまでの3600億ドル分の追加関税を半分まで引き下げるとしています」 このトピックに当てられた時間は30秒で放送法上は特に問題は見られなかった。</li> <li>・「桜を見る会」をめぐる諸疑惑→結論：問題なし 小川キャスターの「安倍総理は都内で行った講演で『桜を見る会』の問題で国会審議の多くの時間が割かれたことについて、「国民の皆さまに申し訳なく思っている」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。 安倍晋三氏（首相）「昨年 Mori Kake 問題、今年の春は統計の問題、秋は桜を見る会、政策論争以外の話に多くの審議時間が割かれてしまっていることを国民の皆様にご大変申し訳なく思っています」 山本キャスター「安倍総理はこのように述べ、「桜を見る会」については招待者の基準など全般的な見直しを行う考えを改めて示しました。」 田村智子氏（参院議員、共産党）「(安倍首相が) 私物化をやっていましたと反省して辞任すればもう終わりなんですよ」 山本キャスター「一方野党側は衆議院に引き続き、参議院でも「桜を見る会」に関する質問書を内閣府に提出しました。このなかでは招待者について内閣官房と安倍事務所のやり取りを明らかにすることや公文書管理の体制について回答を求めました」</li> </ul>		



このトピックに当てられた時間は 83 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

■「桜を見る会」をめぐる諸疑惑

安倍首相は「昨年 Mori Kake 問題、今年の春は統計の問題、秋は桜を見る会、政策論争以外の話に多くの審議時間が割かれてしまっていることを国民の皆様に変に申し訳なく思っています」と述べ、今国会の審議時間の多くが「桜を見る会」をめぐる諸疑惑の審議に用いられたことで、政策論争に十分な時間が割けなかったことを国民に対して謝罪する形となったが、

フリージャーナリストの日下部智海氏による調査(※下記 URL 参照)によれば(本来は検証者自身で調査の確からしさを確認すべきものであるが、時間が割けないためやむなくそのまま掲載する)、本国会における本会議+委員会+審査会の合計審議時間 535 時間 41 分のうち、「桜を見る会」に関する諸疑惑の審議に用いられた時間は 15 時間 12 分であり、これは全体の審議時間に占める割合は 2.8%に留まることが判り、また本国会では国会に提出された閣法 15 本のうち、14 本が成立している。

ここから明らかになったことは、今国会における「桜を見る会」をめぐる諸疑惑の審議に用いられた時間の占める割合は全体からすると僅かであり、「政策論争以外の話に多くの審議時間が割かれてしまっている」という認識は事実と乖離していること、そして国民の国会審議への関心の低さ、野党に対する不信感を逆手に取り「野党が桜を見る会の話しかしないため、日本の政治が停滞している」という印象を国民に与えようとする首相の伶俐狡猾な姿勢である。

その一方で、連日「桜を見る会」をめぐる諸疑惑の報道に国会審議に関する放送時間の過半を割き(政治倫理に関わるきわめて重大な問題であり、それ自体は否定されるべきものではない)、他の政策課題にクローズアップする努力を怠ってきた報道番組の制作サイドの姿勢も、「野党が桜を見る会の話しかしないため、日本の政治が停滞している」という印象の形成に一役買ったという意味では、いわば「共犯」といえるのではないだろうか。

ハーバービジネスオンライン(2019/12/20)

桜を見る会問題、国会審議に占める割合はわずか。長引かせたのは誠実な回答から逃げ、嘘をつく政権与党

<https://hbol.jp/208979?display=b>